第 28 回(R6.2.28)

参考資料4-4

## 「LIFEの活用状況の把握およびADL維持等加算の拡充の影響に関する調査研究事業」 【LIFE関連加算算定事業所票】

### ■ご記入にあたってのご注意

- この調査票は自事業所でLIFEを使用したことがある方がご記入ください。
- 特に指定の無い限り、令和5年7月1日時点の状況についてご回答ください。
- 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。
- 具体的な回答方法については、「実施要領」をご確認ください。
- 令和5年8月14日(月)までにご回答いただき、「調査実施のお願い」に記載の方法で提出してください。

#### ■調査に関するお問い合わせ先

「LIFEの活用状況の把握およびADL維持等加算の拡充の影響に関する調査研究事業」事務局

電話:0120-899-777 (平日 9:30~17:30)

◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎

メール:r5-life@surece.co.jp

使用している介護ソフトを選んでください ※当てはまるもの全てに⊿をしてください ※完全導入とは、事業所における全業務について介護ソフトを利用している場合を指します (1) ※一部導入とは、事業所における一部業務についてのみ介護ソフトを利用している場合を指します

完全導入	一部導入						
		1	① ほのぼのシリーズ(NDソフトウェア株式会社)				
		2	② ワイズマンシステムSP(株式会社ワイズマン)				
		3	HOPE Lifel	Mark-WINCARE(	富士通株式会社)		
		4	④ カイポケ(株式会社エス・エム・エス)				
		5	⑤ 楽すけ(ニップクケアサービス株式会社)				
		6	⑥ すこやかサン(株式会社EMシステムズ)				
		7	⑦ CAREKARTE(株式会社ケアコネクトジャパン)				
		8	ちょうじゅ(株	式会社ケアコネクト	ジャパン)		
	П			ソフト名			
	]		CO기반	会社名			
Ō		10	介護ソフトは	使用していない			

#### 問2 LIFEの利用状況

(1)	LIFEへどのようにデータ登録していますか
(1)	LIFEへどのようにデータ登録していますか ※インポート機能とは、介護ソフトからcsvファイルを出力し、LIFEにデータ登録する機能のことをいいます

0	① インポート機能のみ活用
0	② LIFE上での直接入力のみ
0	③ インポート・LIFE直接入力の併用(①と②の併用)
$\cap$	<b>④ 子の他 (</b>

ください

(0)	LIFEの利用場面について、目事業所に当てはまるものを選択して
(2)	※当てはまるもの全てに切をしてください

<u>м</u> = С	公当ではあるのが主でに置きので くんこと・							
	① ケアの質の向上に関する方針の策定・実施							
	② 利用者状態の管理・課題把握							
	③ 利用者状態の多職種での情報共有							
	④ フィードバック票を用いた提供サービス・ケアの見直し							

フィードバック票を用いた利用者・家族への説明 (5)

 $\bigcirc$ 現時点では上記のいずれも活用していない

その他(

問3	LILE	列用に	伴う事業所内での多職種連携・議論の状況	
	(1)		の利用に当たって、新たに開始したり、頻度が増えた、若しくは内容が充実した取り組みを教えてください 「はまるもの全てに☑をしてください	
			① 多職種連携(多職種間における日々の情報共有など)	
			② 利用者の状態に関する評価	
			③ LIFEにデータ提出をする項目に関する評価方法に関する職員への研修	
			④ PC等の端末やインターネット環境の整備	
			⑤ LIFEで収集した情報やフィードバック情報を利用した利用者の目標や提供サービスの見直し・変更	
			⑥ LIFEで収集した情報やフィードバック情報の利用者・家族への共有	
			⑦ その他(	)
		0	⑧ 上記のいずれにも当てはまらない	
_			の利用に伴い、事業所内の委員会等で利用者情報等を議論した、議論の頻度が増えた、もしくは議論の内容が充	Š
	(2)		ことがありますか 「はまるもの全てに図をしてください	
			① 既存の委員会で議論した	_
			② 新たに委員会等を設置の上、議論した	
			③ 委員会等の組織体以外で議論した	
			<ul><li></li></ul>	,
		0	⑤ 実施していない	_
-	(2)		情報等についての議論の実施頻度を教えてください	
	(3)	×(2)	で①~④を選択された方にお聞きします	
		0	① 2週間に1回以上	
		0	② 1か月に1回程度	
		0	③ 2か月に1回程度	
		0	<ul><li>④ 3か月に1回程度</li></ul>	
		0	⑤ 不定期	
-		O	● その他( )	)
	(4)		を活用した多職種連携において、連携している職種を教えてください 「はまるもの全てに☑をしてください	
	(1)	•	な資格を有する方については、該当する職種についてご回答ください	
			① 医師	
			② 歯科医師	
			③ 歯科衛生士	
			⑤ 看護職員 	
			⑥ 介護職員(介護福祉士除く)	
			⑨ 言語聴覚士         ⑩ 管理栄養士	
			① 栄養士(管理栄養士除く)	
			② 介護支援専門員	
			③ 介護福祉士	
			⑥ 公認心理師	
			① 相談員(②④⑤以外)	
			⑱ その他( )	)
		0	⑲ 上記のいずれにも当てはまらない	

	(5)	LIFE	を多職	種連携に活用するために行っている工夫を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください	١			
		① 多職種でアセスメントを実施する						
			2	実施頻度を決めて、定期的に多職種で議論を行う				
			3	議論に参加している職種ごとに意見を出すようにしている				
			4	多職種でフィードバック票と提供サービス・ケアプラン等を照らし合わせる				
			(5)	多職種で利用者の状態の経時的変化を確認・議論する				
			6	多職種で評価項目を確認し、より個人に応じた支援を行う				
			7	LIFEデータを独自に分析し、多職種で共有・議論する				
			8	多職種で事業所フィードバックの結果を確認・議論する				
			9	その他(	)			
		0	10	上記のいずれにも当てはまらない				
問4	ケアの	質の向	〕上に	向けたPDCAサイクルの取組状況				
				の活動(介護過程の展開)のプロセスの中で、LIFEに関連する取組により、これまでの取組が更に充実し	た			
	(1)	3.	•	ください るもの全てに☑をしてください				
	(1)			っもの主てに函をしてください 予定である場合も、☑をしてください				
			_					
			1	LIFEの活用が、職員に対して、利用者の状態の評価や介入について考えることを意識付けるきっかけになった				
			2	LIFEへのデータ提出のための利用者の状態の評価の結果、これまで把握していなかった利用者の状態についても、評価するようにな	った			
			3	LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法が統一された				
			4	LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が向上した				
			5	LIFEへのデータ提出の結果、利用者の問題点や課題がこれまでよりも把握できるようになった				
			6	LIFEでデータを一元管理することで、多職種での情報連携がしやすくなった				
		□ ⑦ LIFEへのデータ提出を通じて、利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった						
		□ 8 フィードバック票を用いて、事業所の傾向を把握することができるようになった □ 1						
		□ ⑨ LIFEの利用に際して、ケアの質の向上に関する事業所の方針を策定した						
			10	LIFEの利用に際して、ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)を設定した				
			11)	その他(	)			
		0	12	上記のいずれにも当てはまらない か <del>にあったま、選問と図じるのではなっている。</del>				
	(2)	ケアの	一连0	の活動(介護過程の展開)のプロセスにおいて、LIFEの利用に関わらす、課題と感じる内容を教えてくた	٢٥			
	(2)	※当て	はまる	るもの全てに☑				
		0	1	特に課題はない				
			2	利用者の状態の評価や介入について考える意識付けができていない				
			3	全ての利用者について状態の評価をしているわけではない				
			4	利用者の状態の評価方法が統一されていない				
			5	利用者の状態の評価頻度が少ない				
			6	利用者の問題点や課題を十分に把握できていない				
			7	利用者の状態の評価結果を多職種で共有していない				
			8	利用者の経時的な状態変化等を分析できていない				
			9	多職種での利用者の状態の評価が実施できていない				
			10	ケアの質の向上に関する事業所の方針が策定されていない				
			11)	ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)が設定されていない				
			12	利用者の状態の評価方法がわからない				
			13	その他(	)			

問5

各加算について ※貴事業所のサービスが加算の対象外である場合や、加算を算定していない場合は回答は不要です。

貴事業所で現在算定している加算を教えてください ※当てはまるもの全てに図をしてください

	电击光二十
	貴事業所で 算定している加算
個別機能訓練加算(Ⅱ)	
ADL維持等加算(I)	
ADL維持等加算(Ⅱ)	
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	
リハビリテーションマネジメント加算(A)	
リハビリテーションマネジメント加算(B)	
理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	
褥瘡マネジメント加算(Ι)	
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)	
褥瘡対策指導管理(Ⅱ)	
排せつ支援加算(I)	
排せつ支援加算(Ⅱ)	
排せつ支援加算(Ⅲ)	
自立支援促進加算	
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)	
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅲ)	
薬剤管理指導加算	
栄養マネジメント強化加算	
栄養アセスメント加算	
口腔衛生管理加算(Ⅱ)	
口腔機能向上加算(Ⅱ)	

各加算でLIFEへのデータ提出が求められている項目について、同一利用者への定期的なアセスメントの実施頻度を教えてください (2)

	1か月に 1回以上	2か月に 1回程度	3か月に 1回程度	6か月に1 回程度
科学的介護推進体制加算	0	0	0	0
ADL維持等加算( I )( II )	0	0	0	0
個別機能訓練加算(Ⅱ)	0	0	0	
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	0	0	0	]
リハビリテーションマネジメント加算(A)(B)	0	0	0	
理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	0	0	0	
褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)(Ⅱ)	0	0	0	
排せつ支援加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)	0	0	0	
自立支援促進加算	0	0	0	
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)(Ⅲ)	0	0	0	
薬剤管理指導加算	0	0	0	
栄養マネジメント強化加算	0	0	0	
栄養アセスメント加算	0	0	0	
口腔衛生管理加算(Ⅱ)	0	0	0	
口腔機能向上加算(Ⅱ)	0	0	0	

					1か月に 1回以上	2か月に 1回程度	3か月に 1回程度	6か月に1 回程度	
		科学的	]介護推進体制加算		0	0	0	0	-
		ADL網	挂持等加算(Ⅰ)(Ⅱ)		0	0	0	0	
		個別機	能訓練加算(Ⅱ)		0	0	0		•
		リハビ	リテーションマネジメント計画書情報		0	0	0		
		リハビ	リテーションマネジメント加算(A)(B	)	0	0	0		
		理学療	法、作業療法及び言語聴覚療法に係	る加算	0	0	0		
		褥瘡マ	「ネジメント加算(Ⅰ)(Ⅱ)		0	0	0		
		排せつ	支援加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)		0	0	0		
		自立支	援促進加算		0	0	0		
		かかり	つけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)(Ⅲ)		0	0	0		
		薬剤管	理指導加算		0	0	0		
		栄養マ	ネジメント強化加算		0	0	0		
		栄養ア	セスメント加算		0	0	0		
		口腔律	生管理加算(Ⅱ)		0	0	0		
			能向上加算(Ⅱ)	0	0	0			
	(4)		へのデータ登録について、複数の加算 はまるもの全てに☑をしてください	びあることによっ	て不便である	る点を教えて	てください		
			① 複数の加算において同様の項	目を入力すること	が手間である	5			
		□ ② 加算ごとに提出頻度が異なる点が手間である							
			③ その他(						)
		0	④ 上記のいずれにも当てはまら	ない					
· ×	令和	5年7月	フィードバックについて 目より、新たなフィードバック票の提供 ック票のダウンロード方法については	țが開始されていま 、LIFEにログイン]	ます 頂き、ご確認	ください			
	(1)	フィー	ドバック票の図表の分量についてご頽	意見を下さい					
				多い	やや多い	ちょうど よい	やや少な い	少ない	未だダウ ロードして いない
		事業所	フィードバック	0	0	0	0	0	0
		利用者	別フィードバック	0	0	0	0	0	0
	(2)	フィー	ドバックの内容について、理解するこ	とはできますか					
				全て理解できる	ほぼ理解 できる	半分程度 は理解で きる	ほぼ理解 できない	全く理解できない	未だダウ ロードして いない
		事業所	フィードバック	0	0	0	0	0	0
		4.1.m +	別フィードバック	0	0	0	0	0	0

	(3)	事業所フィードバックについて、全国平均以外に比較したい条件を教えてください ※当てはまるもの全てに図をしてください								
	□ ① 自事業所・施設と同じ地域との比較									
	□ ② 自事業所・施設と平均要介護度が同程度の事業所・施設との比較									
		□ ③ 特定の加算の算定有無別での比較→加算名( )								
	□ ④ その他 ( )									
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
ŀ	(4)	フィー			の意見があれば教えてください					
		事業所	fフィート	ドバック						
		利用者	が フィー	ードバック						
<del></del> 問7	ADL	推持等力	加算につ	ついて						
	-			<u>- * * *</u> ]算を算定して						
	. ,	0								
		0			□算(Ⅱ)を算定している					
		0	3 i	過去にADL維	#持等加算を算定していたが今は算定していない					
		0	4 1	 算定していな!	LI					
	(2)	ADL維持等加算を算定している理由を教えてください ※問7(1)で①または②のいずれかを選択された方にお聞きします ※当てはまるもの全てに☑をしてください								
			1 /	ADL維持・向 <sub>-</sub>	上の取組に力を入れているため					
			2 7	利用者の尊厳	の保持と自立支援に貢献できるから					
			3 4	ADL維持·向_	上の取組が加算としても評価されるため					
			4 >	法人·事業所の	の方針による					
			<u> </u>	その他(		)				
		0	6 _	上記のいずれ	にも当てはまらない					
	(3)	※問7	(1)で①	)~③を選択さ	祭して新たに始めた取組を教えてください された方にお聞きします をしてください					
			1 1	Barthel Inc	dexを用いたADL評価の実施					
			2 7	定期的なADL	L評価の実施					
			3 E	Barthel Inc	dexを用いたADL評価ができる人材の確保					
			4	ADL評価に関	<b>見する研修等</b>					
			⑤ 1	サービス提供	内容等の変更					
			6 7	利用者の目標	の変更					
			7 7	利用者の目標	に数値目標を明記					
			8 1	他事業所のリ	ハビリ専門職等との連携					
			9	その他(		)				
		0	10 _	上記のいずれ	にも当てはまらない					

( 1 )	Barth ※問7	nel Indexの評価を行っている方の職種を、教えてください (1)で①~③を選択された方にお聞きします	
(4)	※当て	「はまるもの全てに図をしてください	
	※複数	な資格を有する方については、該当する職種についてご回答ください	
		② 歯科医師	
		③ 歯科衛生士	
		<ul><li>④ 薬剤師</li></ul>	
		⑤ 看護職員	
		⑥ 介護職員(介護福祉士除く)	
		⑦ 理学療法士	
		⑧ 作業療法士	
		⑨ 言語聴覚士	
		⑩ 管理栄養士	
		① 栄養士(管理栄養士除く)	
		⑫ 介護支援専門員	
		③ 介護福祉士	
		⑭ 社会福祉士	
		⑤ 精神保健福祉士	
		⑯ 公認心理師	
		① 相談員(②④⑤以外)	
		18 その他(	)
	0	⑲ 上記のいずれにも当てはまらない	
(5)		nel Indexの評価者が受けた教育・研修などを教えてください (1)で①~③を選択された方にお聞きします	
(5)		「はまるもの全てに図をしてください	
		① 外部団体等が開催している研修に参加した	
		② 法人・事業所等が開催している研修に参加した	
		③ 厚生労働省HP等で公表しているマニュアルや動画を用いて学習した	
		④ その他(	)
		<b>性持等加算の算定にあたって、感じている課題を教えてください</b>	
(6)		(1)で①~③を選択された方にお聞きします [はまるもの全てに☑をしてください	
		① 加算の算定要件が分かりにくい	
		② 利用者(当該事業所の評価対象利用期間が6月を超える者)の総数の要件が厳しい	
		③ Barthel Indexの評価方法が難しい	
		<ul><li>④ 利用者の状態の評価に手間がかかる</li></ul>	
		⑤ 同一利用者について、頻繁にADL評価をする必要がある	
		⑥ 事業所として、頻繁にADL評価をする必要がある	
		⑦ 調整済みADL利得の計算方法が分かりにくい	
		⑧ 調整済みADL利得のハードルが高い	
		より適切な評価指標がある ⑨	
		→具体的な指標名(	)
		⑩ 届出にあたっての事務手続が分かりにくい	
		① 加算の点数が低い	
		② その他(	)
	0	③ 感じている課題は特にない	

	(7)	※問7	(1)て	加算を算定していな ・③または④を選択さ るもの全てに☑をして	れた方にお聞き				
		<u>%=</u> (	1	利用者の状態の評価					
			2	利用者の状態の評価		,40,1			
			3	利用者の状態の評価		休制を整えることか	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	
			4	調整済みADL利得			· <del>X</del> EO v	•	
			<u>\$</u>	調整済みADL利得					
			6	利用者の総数が要例					
			7	法人や施設の方針で					
			8		く弁定している	, <b>,</b>			)
			9		<b>ムアけまらかい</b>				,
	職員体				3 (1887)811				
問8	※法人	くではな	;/<	事業所内の人数を訂		ر ۱			
	※小数	太点第1	位ま	でを記載してくださ	い。				
					常	勤換算人数			
	(1)	医師					人		
	(2)	歯科医	師				人		
	(3)	歯科律	<u></u> す生士				人		
	(4)	薬剤師	Fi .				人		
	(5)	看護職	損				人		
	(6)	介護職	貴(1	〉護福祉士除く)			人		
	(7)	理学療	法士				人		
	(8)	作業療	法士				人		
	(9)	言語聴	党士				人		
	(10)	管理第	養士				人		
	(11)	栄養士	(管理	里栄養士除く)			人		
	(12)	介護支	援専				人		
	(13)	介護福	祉士				人		
	(14)	社会福	祉士				人		
	(15)	精神係	健福	祉士			人		
	(16)	公認心	理師				人		
	(17)	相談員	₫((12	2)(14)(15)以外)			人		
	(18)	その他	2の職	—————————————————————————————————————			人		
			7	その他の職員の内訳(				)	

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

# 「LIFEの活用状況の把握およびADL維持等加算の拡充の影響に関する調査研究事業」 【LIFE関連加算未算定事業所票】

## ■ご記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は事業所の管理者の方がご記入ください。
- ・ 特に指定の無い限り、令和5年7月1日時点の状況についてご回答ください。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。
- ・ 具体的な回答方法については、「実施要領」をご確認ください。
- ・ 今和5年8月14日(月)までにご回答いただき、「調査実施のお願い」に記載の方法で提出してください。

#### ■調査に関するお問い合わせ先

「LIFEの活用状況の把握およびADL維持等加算の拡充の影響に関する調査研究事業」事務局

電話:0120-899-777 (平日 9:30~17: 30)

◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎

メール:r5-life@surece.co.ip

問1	使用し	している介護ソフトの会社							
		使用している介護ソフトの会社を選んでください ※当てはまるもの全てに図							
	(1)	<ul><li>1) ※完全導入とは、事業所における全業務について介護ソフトを利用している場合を指します</li><li>※一部導入とは、事業所における一部業務についてのみ介護ソフトを利用している場合を指します</li></ul>							
	完全導入一部導入								
				1		ノーズ(NDソフトウェ	., , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
				2	ワイズマンシ	ノステムSP(株式会社	性ワイズマン)		
				3	HOPE Life	eMark-WINCARE	E(富士通株式会社)		
				4	カイポケ(株	式会社エス・エム・エ	[ス)		
				(5)	楽すけ(ニッ	プクケアサービス株	(式会社)		
				6	すこやかサン	ン(株式会社EMシス・	(テムズ)		
	ロ ロ ⑦ CAREKARTE(株式会社ケアコネクトジャパン)						コネクトジャパン)		
	□ □ 8 ちょうじゅ(株式会社ケアコネクトジャパン)					トジャパン)			
				9	その他	ソフト名			
				<b>)</b>	تاره ۲	会社名			
	○ ⑩ 介護ソフトは使用していない								
	(2)	使用して	いる介護	ソフトはLIF	Eに対応してい	ハますか			
		O ①	完全に対	応している					
		0 2	一部対応	している					
		<b>O</b> 3	全<対応	していない					
		0 4	わからな	:١١					
問2	これま	きでの利	用者及び	自事業所に	関するデー	タ分析内容			
	(1)	日常的に	利用者の	状態を評価	していますか				
		0 1	評価して	いる					
		○ ② 評価していない							

	(2)	評価※問	している内容を教えてください  2(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きします	
	(2)		てはまるもの全てに図	
			① 利用者のADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)	
			② 利用者のIADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)	
			③ 利用者の認知機能	
			④ 利用者の認知症の行動・心理症状(BPSD)	
			⑤ 利用者の意欲	
			⑥ 利用者の栄養状態	
			⑦ 利用者の口腔・嚥下機能	
			⑧ 利用者の褥瘡の状態	
			⑨ 利用者の日中の活動(離床時間/外出回数/居室以外における滞在時間)	
	,		⑩ 利用者の服薬状況	
			① その他(	)
	(3)		所内の委員会等で利用者情報等を議論していますか	
	(0)	※当	てはまるもの全てに図をしてください	
			① 委員会で議論した	
			② 委員会等の組織体以外で議論した	
			③ その他(	)
		0	④ 実施していない	
	(4)	利用 ※(3	者情報等についての議論の実施頻度を教えてください 3)で①~③を選択された方にお聞きします	
		0	① 2週間に1回以上	
	,	0	② 1か月に1回程度	
	,	0	③ 2か月に1回程度	
		0	<ul><li>④ 3か月に1回程度</li></ul>	
	,	0	<b>⑤</b> 不定期	
		0	<ul><li>⑥ その他 (</li></ul>	)
問3			D利用者または家族への説明	
	(1)		を評価した結果や利用者の状態の推移等を利用者あるいはその家族に説明したことはありますか	
		0	① ある	
-		0	②ない	
	(2)		)頻度を教えてください  3(1)で「①ある」と選択された方にお聞きします	
		0	① 定期的に実施している → 年( )回程度	
		0	② 不定期であるが実施している	
_		0	③ その他(	)
	(3)	※問	対象者を教えてください  3(1)で「①ある」と選択された方にお聞きします  てはまるもの全てに図	
			②利用者の家族	
			③ その他 (	)
				,

	(4)	※問	している内容を教えてください 3(1)で「①ある」と選択された方にお聞きします	
	1	※当	てはまるもの全てに図	
			① 利用者のADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)	
			② 利用者のIADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)	
			③ 利用者の認知機能	
			④ 利用者の認知症の行動・心理症状(BPSD)	
			⑤ 利用者の意欲	
			⑥ 利用者の栄養状態	
			⑦ 利用者の口腔・嚥下機能	
			⑧ 利用者の褥瘡の状態	
			⑨ 利用者の日中の活動(離床時間/外出回数/居室以外における滞在時間)	
			⑩ 利用者の服薬状況	
			① その他(	)
問4	ケアの		D向上に向けたPDCAサイクルの取組状況	
	(4)		の一連の活動(介護過程の展開)のプロセスにおいて、貴事業所で実施していることを教えてください	
	(1)		てはまるもの全てに☑をしてください 後実施予定である場合も、☑をしてください	
			後天施」だとのも場合し、Meeoでくたさい ① 利用者の状態の評価や介入について考える意識付けを実施している	
			③ 利用者の状態の評価方法を統一している ④ 利用者の状態の評価を十分な頻度で実施している	
			⑤ 利用者の問題点や課題を把握している	
			○ 利用者の状態の評価結果を多職種で共有している	
			⑦ 利用者の経時的な状態変化等を分析している	
			② 多職種での利用者の状態の評価を実施している	
			タ	
			<ul><li>◎ ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)が設定されている</li></ul>	
			① その他(	)
		10	② 取組は実施していない	/
			の一連の活動(介護過程の展開)のプロセスにおいて、課題と感じる内容を教えてください	
	(2)		てはまるもの全てに図	
		0	① 特に課題はない	
			② 利用者の状態の評価や介入について考える意識付けができていない	
			③ 全ての利用者について状態の評価をしているわけではない	
			④ 利用者の状態の評価方法が統一されていない	
			⑤ 利用者の状態の評価頻度が少ない	
			⑥ 利用者の問題点や課題を十分に把握できていない	
			⑦ 利用者の状態の評価結果を多職種で共有していない	
			⑧ 利用者の経時的な状態変化等を分析できていない	
			⑨ 多職種での利用者の状態の評価が実施できていない	
			⑩ ケアの質の向上に関する事業所の方針が策定されていない	
			① ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)が設定されていない	
			② 利用者の状態の評価方法がわからない	
			③ その他(	)

問5	LIFE	の今後の利用意向				
	(1)	LI	FEの今後の利用意向を教えてください			
		0	① 利用したい(アカウント申請済み)			
		0	② 利用したい(アカウント未申請)			
		0	③ 利用したいと思わない			
	(2)		点でLIFEを利用していない理由を教えてください			
	(2)		てはまるもの全てに図			
			① 利用申請の方法など、LIFEを利用するまでの手順がわからない			
			② LIFEやLIFEに関連した加算についてよく知らない			
			③ LIFEや加算の意義を理解できない			
			④ LIFEに関連する加算を算定する予定がない			
			⑤ LIFEに登録する項目のうち、これまで評価・把握していなかった項目が多い			
			⑥ データ連携が可能な介護ソフトを導入していない			
			⑦ 利用者の状態の評価方法が分からない			
			⑧ 利用者の状態の評価をする職員の負担が大きい			
			⑨ データを入力する職員の負担が大きい			
			⑩ 利用者の評価結果や収集したデータの活用方法が分からない			
			① 具体的な入力項目やフィードバックされる内容を知らない			
			② 魅力的なフィードバック機能がない			
			③ 利用者や家族の同意が得られない			
			⑭ 加算の単位数が少ないと感じる			
			⑮ LIFEや加算に関する職員への研修ができない			
			⑯ 法人としてLIFEを利用しない判断をしている			
		0	⑦ 特に理由はない			
			18 その他 ( )			

問6	職員体制(属性・人数) ※法人ではなく、事業所内の人数を	を記載してください	
1-30	※小数点第1位までを記載してくた	ざさい	
		常勤換算人数	
	(1) 医師	人	
	(2)歯科医師	人	
	(3) 歯科衛生士	人	
	(4)薬剤師	人	
	(5)看護職員	人	
	(6) 介護職員(介護福祉士除<)	人	
	(7)理学療法士	人	
	(8)作業療法士	人	
	(9) 言語聴覚士	人	
	(10) 管理栄養士	人	
	(11) 栄養士(管理栄養士除く)	人	
	(12)介護支援専門員	人	
	(13)介護福祉士	人	
	(14)社会福祉士	人	
	(15) 精神保健福祉士	人	
	(16) 公認心理師	人	
	(17) 相談員((12)(14)(15)以外)	人	

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

(18) その他の職員

その他の職員の内訳(